

News Release

2019年 2月28日
 NITE（ナイト）
 独立行政法人製品評価技術基盤機構
 製品安全センター（東京）

配線器具の事故にご注意ください ～関東甲信越における事故を中心に～

1. 関東甲信越地方の配線器具による事故

（1）年度別事故発生件数と被害状況

2013年度から2017年度までの5年間でNITE（ナイト）が収集した製品事故情報^{※1}において、関東甲信越地方の1都9県（茨城県、群馬県、埼玉県、山梨県、新潟県、神奈川県、千葉県、長野県、東京都、栃木県）で発生した配線器具^{※2}による事故は計101件あり、うち「火災」となった事故は65件ありました。配線器具による事故について、都県別の年度別事故発生件数を表1、被害状況別事故発生件数を表2、原因区分別事故発生件数を表3に示します。

※1 消費生活用製品安全法に基づき報告された重大製品事故に加え、事故情報収集制度により収集された非重大製品事故やヒヤリハット情報（被害なし）を含む。

※2 延長コード、テーブルタップ及びマルチタップなど。詳細は別送 News Release（全国版）を参照。

表1. 年度別事故発生件数

		茨城県	群馬県	埼玉県	神奈川県	千葉県	東京都	栃木県	長野県	新潟県	山梨県	合計
事故発生年度	2013年度		1	3	2	5	7				1	19
	(内数)火災事故		(1)	(2)	(1)	(2)	(3)					(9)
	2014年度	2	2	2	4	2	10	2				24
	(内数)火災事故	(1)	(1)	(2)	(3)	(2)	(9)					(18)
	2015年度		5	5	3	2	5		1			21
	(内数)火災事故		(5)	(2)	(2)	(1)	(5)					(15)
	2016年度		5	2	4	6	3			1		21
	(内数)火災事故		(5)	(1)	(2)	(4)	(2)					(14)
2017年度	1	2	2	4	1	5	1					16
(内数)火災事故	(1)	(1)	(1)	(1)	(1)	(4)						(9)
合計	3	15	14	17	16	30	3	1	1	1	101	
(内数)火災事故	(2)	(13)	(8)	(9)	(10)	(23)	(0)	(0)	(0)	(0)	(65)	

表 2. 被害状況別事故発生件数^{※2}

		茨城県	群馬県	埼玉県	神奈川県	千葉県	東京都	栃木県	長野県	新潟県	山梨県	合計	
被害状況	人的被害	死亡			1							1	
		(内数)火災事故				(1)							(1)
		重傷											0
	(内数)火災事故											(0)	
	軽傷	1		2	2	2	2					9	
	(内数)火災事故			(1)								(1)	
	物的被害	拡大被害	1	12	9	10	12	18	1	1		1	65
		(内数)火災事故	(1)	(10)	(5)	(5)	(9)	(16)					(46)
		製品破損	1	3	3	3	2	10	2		1		25
	(内数)火災事故	(1)	(3)	(2)	(3)	(1)	(7)					(17)	
被害なし				1								1	
(内数)火災事故												(0)	
合計		3	15	14	17	16	30	3	1	1	1	101	
(内数)火災事故		(2)	(13)	(8)	(9)	(10)	(23)	(0)	(0)	(0)	(0)	(65)	

※2 人的被害と物的被害が同時に発生している場合は、人的被害の最も重篤な分類でカウントし、物的被害には重複カウントしない。製品本体のみの被害（製品破損）にとどまらず、周囲の製品や建物などにも被害を及ぼすことを「拡大被害」としている。

表 3. 原因区分別事故発生件数

区分	事故原因区分説明	茨城県	群馬県	埼玉県	神奈川県	千葉県	東京都	栃木県	長野県	新潟県	山梨県	総計	
製品に起因する事故	A	設計、製造又は表示等に問題があったもの (内数)火災事故		1	2	5	3	4	1	1	1	1	19 (3)
	B	製品および使い方に問題があったもの (内数)火災事故											0 (0)
	C	経年劣化によるもの (内数)火災事故		1 (1)									1 (1)
	G3	製品起因であるが、その原因が不明のもの (内数)火災事故	1			1	1	1					4 (1)
	小計		1	2	2	6	4	5	1	1	1	1	24
	(内数)火災事故		(0)	(1)	(0)	(0)	(1)	(3)	(0)	(0)	(0)	(0)	(5)
	製品に起因しない事故	D	施工、修理又は輸送などに問題があったもの (内数)火災事故			1 (1)		1 (1)	2 (2)				
E		誤使用や不注意によるもの (内数)火災事故	1 (1)	5 (4)	1 (1)	1 (1)	2 (1)	4 (3)	1				15 (11)
F		その他製品に起因しないもの (内数)火災事故		1 (1)		4 (4)	1 (1)	4 (3)					10 (9)
小計		1	6	2	5	4	10	1	0	0	0	29	
(内数)火災事故		(1)	(5)	(2)	(5)	(3)	(8)	(0)	(0)	(0)	(0)	(24)	
その他	G	原因不明なもの (内数)火災事故	1 (1)	6 (6)	10 (6)	5 (3)	5 (3)	12 (9)	1				40 (28)
	H	調査中のもの (内数)火災事故		1 (1)		1 (1)	3 (3)	3 (3)					8 (8)
	小計		1	7	10	6	8	15	1	0	0	0	48
	(内数)火災事故		(1)	(7)	(6)	(4)	(6)	(12)	(0)	(0)	(0)	(0)	(36)
合計		3	15	14	17	16	30	3	1	1	1	101	
(内数)火災事故		(2)	(13)	(8)	(9)	(10)	(23)	(0)	(0)	(0)	(0)	(65)	

原因区分別事故発生件数（表 3）でみた場合、消費者の誤使用や不注意による事故（E 区分）が 15 件あります。これらの事故は、製品の取扱方法を正しく認識して使用することで未然に防ぐことができます。事故防止のための注意事項として別送 News Release（全国版）の「気を付けるポイント」をご参照ください。併せて、製品に起因する事故（A、B、及び G 3 区分）の未然防止については、特にリコール対象製品による事故も発生していますので、お使いの製品が、社告・リコールの対象となっていないかご確認ください。

(2) 関東甲信越地方において発生した事故の事例

① 延長コードの断線による事故

・ 2014年2月、埼玉県、拡大被害

(事故内容)

延長コードに電気製品を接続して使用中、延長コード及び周辺を焼損する火災が発生した。

(事故原因)

コードは電源タップ側コードプロテクター端部で芯線が両極とも断線しており、断線部に溶融痕が認められたほか、電源タップ側電源コードプロテクターの中央付近に亀裂があり、コードに複数の折れ跡が認められたことから、タップ側コードプロテクター端部でコードに過度の外力が加わったため、芯線が断線、スパークして出火に至ったものと推定される。

なお、商品パッケージには、「コードを引っ張らない、無理に曲げない、ねじらない。断線して火災の原因になる。」旨、記載されている。

② 延長コードの電源プラグ栓刃の変形による事故

・ 2015年3月、群馬県、拡大被害

(事故内容)

数日間プラスチックの溶ける臭いがし、気付いたら、電源プラグ栓刃とコンセントの差込口が焦げていた。

(事故原因)

電源プラグ栓刃が変形していることから、過度な応力が加わったため、電源プラグ栓刃が変形してコンセントの差込口との間で接触不良が生じ、異常発熱して焦げたものと推定される。

なお、取扱説明書には、「プラグの刃が曲がった場合は使用を中止する、コードを持ってプラグを抜いたり、コードを持って引っばったりしない。感電・火災の原因になる。」旨、記載されている。

③ リコール製品による事故

・ 2017年9月、東京都、軽傷

(事故内容)

延長コードの本体側のコードプロテクター付近から火花が出て、手に火傷を負った。

(事故原因)

プロテクター部の樹脂材料（塩化ビニル）の柔軟性が低いこと、及びプロテクター部の形状、肉厚の影響等により、プロテクター先端部に集中的に曲げ応力が加わり、断線、スパークが生じたものと推定される。

なお、延長コードは2015年9月からリコールされていた。

2. 配線器具による事故の再現実験映像について

以下の映像をご希望の場合は、下記の問い合わせ先までご連絡ください。

(1) 実験映像内容

- ① 充電器「3. 充電ケーブルに液体がこぼれて異常発熱」(2. (2) 写真1)
- ② 電源プラグ「3. 変形した電源プラグを使用して異常発熱」(2. (2) 写真2)

(そのほか)

- ③ テーブルタップ・延長コード「1. トラッキング現象で発火」
- ④ テーブルタップ・延長コード「2. 束ねたコードの発火1」
- ⑤ テーブルタップ・延長コード「3. 束ねたコードの発火2」
- ⑥ テーブルタップ・延長コード「4. 冬場はたこ足配線に要注意」
- ⑦ 充電器「1. トラッキング現象で発火」
- ⑧ 充電器「2. 曲げ戻したコネクタからの発煙」
- ⑨ 電源コード「4. コードリールの発火」
- ⑩ 電源コード「6. ねじり接続で発火」
- ⑪ 電源コード「8. 半断線で発火」
- ⑫ 電源コード「9. 断続的なショート」
- ⑬ 電源コード「10. ショートにより焼き切れた電源コード」
- ⑭ 電源プラグ「1. トラッキング現象で発火」
- ⑮ 電源プラグ「2. トラックが成長する過程」
- ⑯ 電源プラグ「4. 栓刃に金属の鎖が接触してショート」

(2) 実験映像例

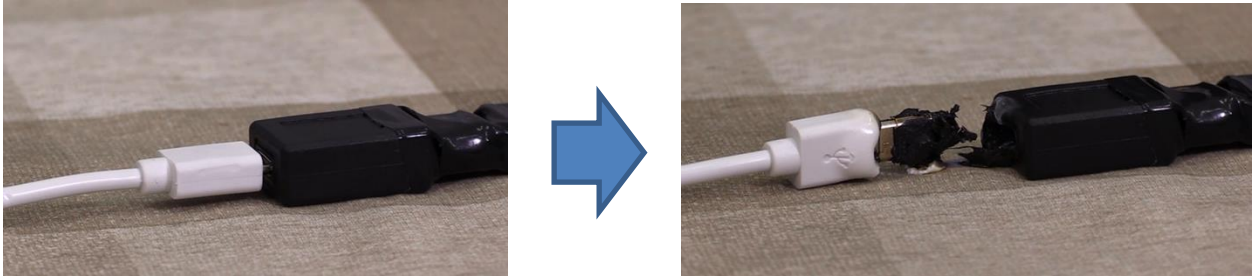


写真1. 充電ケーブルに液体がこぼれて異常発熱

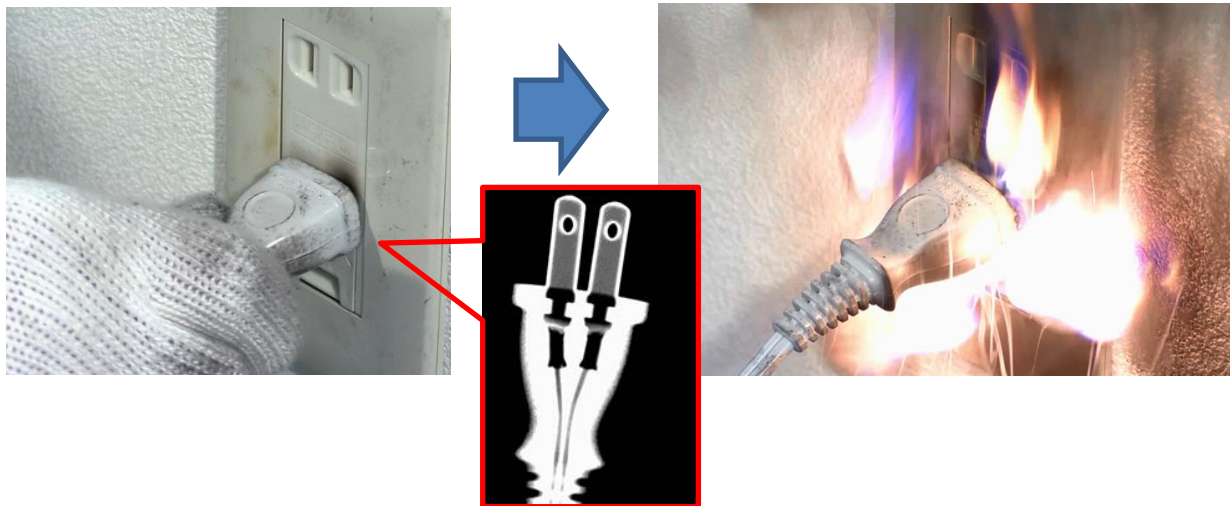


写真2. 変形した電源プラグを使用して異常発熱

(本件に関する問い合わせ先)

〒151-0066 東京都渋谷区西原2-49-10

独立行政法人 製品評価技術基盤機構 製品安全センター 技術業務課

担当者：松本（まつもと），有山（ありやま），佐藤（さとう）

電話：03-3481-1820